

# 悲願成就へ闘志

## 光星ナイン 本社を訪問



甲子園への意気込みを語る武岡龍世主持（左） 30日午後4時すぎ、デーリー東北ホール

第101回全国高校野球選手権大会に出場する光星ナインが30日、八戸市を訪れた。同校とついでに3連戦の甲子園でもあり、武岡世主持は「闘志をみなぎらせた」と、8月6日に開幕する本番へ闘志をみなぎらせた。

同日は、青森大会のベンチ入り20人と、仲井宗基監督、小坂賢志部長、小野崎龍一校長、大沢一實協賛会長が来社。社員に拍手で迎えられ、仲井監督と武岡世主持が花束を受け取った。

デーリー東北ホールで荒瀬澤社長らと懇談した仲井監督は、「センバツや春季県大会での初戦敗退から、選手たちが練習に励み、はい上がってくれた」と、夏の甲子園にたどり着くまでの道のりを振り返った。その上で、「令和初の甲子園で、今まで聞かなかった重い扉をこじ開けたい」と、東北勢初の「悲願成就」への決意をこぼした。

これに対し、荒瀬社長は「甲子園でも一戦一戦全力で戦ってほしい。一日でも長く、甲子園で戦う姿を八戸市民、青森県民にお伝えしたい」とエールを送った。

（文・林泰輔 写真・岸山浩）

### 八戸市庁に 応援看板

八戸市は30日、八学光星硬式野球部の第101回全国高校野球選手権大会出場を祝うため、目黒区に設置された応援看板の前で、記念撮影した。



八戸市庁を表敬訪問し、設置された応援看板の前で、力強く決意を込めて八学光星ナインら 30日午後3時50分ごろ、八戸市庁前

を祝い、甲子園での活躍を願う応援看板を八戸市庁前に設置した。看板の大きさは縦90センチ、横90センチ。頂点をイメージした金色が施され、「目指せ全国制覇」といった文字で、ナイン

エールを送っている。同日は、光星ナインが市庁を訪ね、小林織市長は甲子園での健闘を賞った。その後、ナインは看板の設置作業を見守り、完了した後に「地元の方々が応援してくる」とは、当然り前ではなかった。大きな励みになる。期待に応えられるよう頑張ると決意を新たにしている。

（林泰輔）